

NSK ACTIVITY REPORT

2019

SPRING AND SUMMER VOL.11

2018年安全標語【第1位】

「伝えたつもり」は自分だけ！
相手に伝わり、良い職場
みんなの意見で良い現場

NSK安全宣言

- 一、私たちは危険予知活動と指差し呼称を徹底します。
- 一、私たちは指示・作業手順を厳守します。
- 一、私たちは報告・連絡・相談を徹底します。

安全衛生月間目標（4月）

自己管理と作業の指導・監督

1. 自主的KYKの実施
2. 作業開始前の安全の確認
3. 作業中の指導・監督の実施

EVENT SCHEDULE

イベント	4月	5月	6月
安全衛生委員会開催	4月26日	5月29日	安全大会
安全衛生教育 ・職長・安全衛生責任者教育（新規・更新） ・低圧電気取扱特別教育		随時開催	
危険予知訓練（TBM/KY研修） 社員・施工パートナー対象		随時開催	
安全大会	—	—	東京地区 6/21 全国各地で開催
施工パートナー安全衛生協議会		東京・大阪 5/13	
安全品質管理室主管安全パトロール		随時開催	
全国安全週間（厚生労働省主催）			準備期間



NSK安全のための4つの取り組み



01 管理 安全パトロール

2019年度は現場での安全衛生管理が適切に行われているか部門長および安全品質管理室での安全パトロールを強化して参ります。当社では実際の現場にて出来るだけ具体的な指導を行い、状況に応じて指摘・改善指示を出し、未然に事故・障害等の発生を防ぐ活動を行っております。

安全パトロール実施者からの報告の一部をご紹介します。

<○良かった点>

1. 工具・資材置場はカラーコーン、トラバーにて区画され、立入り禁止の表示がされていた。また現場責任者の連絡先が表記されていた。
2. 感知器には保護カバーがされており、接触防止を行っていた。また、第三者にも分かる様に「頭上注意」の表記がされていた。

<×指摘した点>

1. 現場に施工体制台帳、緊急連絡先、場内ルールが掲示されていたが、社内連絡網の掲示が無かった。
⇒ 掲示を指示し作業員にも周知する
2. 朝礼時の健康KYが責任者から的一方通行だった。
⇒ 一人ひとり顔を見て実施すること



02 活動

関西地区 施工パートナー会

関西地区施工パートナー会の活動についてご紹介いたします。

本年度は施工パートナー様4社と大阪営業所1課、2課の各2名と事務局を合わせて9名で運営しております。

活動内容は安全品質についての周知内容の検討や勉強会・研修会の実施のほか年に4回の定例会を開催しております。

4月以降になりますと6月に開催します安全大会の準備がスタートします。

関西地区では毎年の安全大会で施工パートナー会からアイデアを出し、安全大会参加者全員へ毎年のテーマに沿った啓発ステッカーを配布しています。

ステッカーの配布は関西地区独自のアイデアで、施工パートナー各社が工具箱や脚立に貼り、自己啓発することで安全対策に大きく貢献しています。

このような活動を継続することで創立40年を迎える2019年度も事故を起こすことが無いように、一致団結して事故・クレーム“ゼロ”の達成を目指し、施工パートナー様と共に取り組んで参ります。



03 衛生 健康経営優良法人に認定されました!

2019年2月21日、日本健康会議により、「健康経営優良法人2019」として、中小規模法人部門にNSKが認定されました。

NSKでは2017年後半からすこやか推進プロジェクトを発足し、社員の健康促進・維持を目的とした活動を行ってまいりました。

発足以前からも健康に関する取り組みは実施していましたが、健康経営という概念を改めて認知したうえで、更なる社員の健康促進に会社として取り組むこととなりました。

まだまだ取り組めることが多くございますので、本社と各営業所メンバーにとって有益な情報や運動を促す企画、活動の啓発活動を行っていきたく思います。

健康経営優良法人認定制度とは

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

※経済産業省HPより



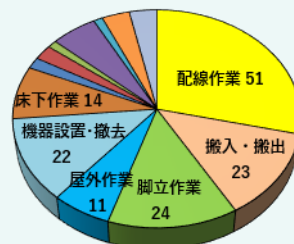
04 対策

ヒヤリハット分析

当社では予防措置の一環として、各部門から現場で発生したヒヤリハットの報告を行っています。安全品質管理室にて取り纏めて集計・分析を行い、全社員に共有しています。また発生したヒヤリハットをもとに各部門にて再発防止対策や予防措置に活用しています。

2018年度は全国から463件のヒヤリハット報告がありました。分析の結果、最もヒヤリハットが多い災害予測は“怪我”でした。不安全行動や不安全状態から発生する怪我を予測しており、中でもケーブル配線作業中の怪我を予測したものが多くありました。

怪我を予測した作業 (178件)



このような分析情報を施工パートナー様にも展開・共有し、重大な事故・障害が発生させない様に活動を行っています。

皆様とむすばれて40年

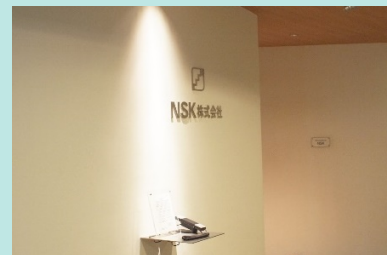
NSKは2019年5月で創立40周年を迎えます。これまで多くのお客様に支えられて事業を続けてくることが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

テクノロジーの進化により世の中の働き方も変わり、オフィスのあり方や情報をやり取りするボリューム、スピードは10年前とは比べ物にならないほどとなりました。

これから10年後もどのような進化を遂げるのかは誰も予測が出来ないことと思います。そのような時代においてもファシリティの構築における安全の確保と品質の向上は我々の目指すべき活動の一つとなります。パートナー企業様からのご協力も得ながら、ご利用いただくお客様に喜んでいただけるよう、これからも精進してまいります。

今後とも、ご支援とご指導のほど、よろしくごお願い申し上げます。

NSK株式会社
代表取締役社長 新田 斉士



NSK株式会社

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-3-1青葉第一ビル

<https://www.nsk-net.co.jp>

安全の取り組みバックナンバーはこちら

https://www.nsk-net.co.jp/?page_id=541